

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 20 日

所属	商経学部	職名	教授	氏 名	沖塩 有希子
研究課題	中等社会科系教科教育に関する研究				
研究キーワード	中等社会科系教科・ 教科教育・教員養成	当年度計画に対す る達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの 成果が達成できた		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

① 上記研究課題に係る取り組み

中等社会科系の教科教育分野の教員養成に携わっている自らの立場性に留意し、関連する担当授業に基づく形で研究の方向性や手法を探っている。またこれと並行して、研究を進めていくに際して前提となる作業：先行する研究動向の把握、担当する当該教科教育講義の受講者の状況把握を進めている。（受講者の状況に関連する各種データが複数年分得られたところで、論考にすることを予定している）

② 次の 2. の項目に記載の論考

教職課程履修者の教育の歴史的事象に関わる認識のあり方や、彼らが教育の歴史的事象を学ぶ意義をめぐって、「教育原理」受講者の教育勅語についてのレポートを手がかりとして論考を試みた。第 1 章では「教育原理」履修以前の受講者の教育勅語に絡む学習状況に言及し、第 2・3 章で教育勅語をどう捉えているか彼らのレポートに依拠して検討し、第 4 章では教育の歴史的事象に対する受講者の認識のあり様、さらには教職課程履修者が教育の歴史的事象を学ぶ意義を考察した。

2. 著書・論文・学会発表等

「教職課程履修者が教育の歴史的事象を学ぶことをめぐって ——『教育原理』受講者を対象とした試論——」『千葉商大紀要』第 62 巻第 3 号、pp.1-23、2025 年。

3. 主な経費

上記の研究や論考を執筆する上で必要な資料類の入手、および調査を行う上で発生した費用を主として経費を使わせていただいた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。

（本文は 2 ページ以内にまとめること）